

みさき

51号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2018年2月10日発行



主な内容

- こんなことが決まりました 2～3
- 議会大激論!!!補正予算案を否決 8
- 12議員が町政を問う 10～21
- まちの黄福論 10年後こんなまちに 22～23

(加美小学校6年生)

大きく育て美咲の子ども 書き初め あがったよ 字が上手になるよ

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

表紙関連記事21ページ

227件の災害を早期復旧

招集され一般会計補正予算など29件の議案が議決されました。

第二次振興計画の中間評価



第二次町政振興計画策定から5年が経過したため計画の中間評価・見直しを行う。
〔企画臨時管理費201万円〕

災害被災施設を早期に復旧

8～9月に発生した台風による災害被災施設復旧事業を早急に実施する。
〔災害復旧費227件4億6,976万円〕



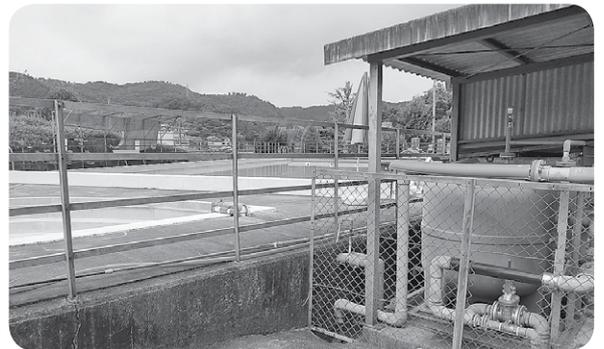
中央運動公園木製遊具を撤去

中央運動公園に設置している大型木製遊具が安全基準に適合しないため撤去する。
〔運動公園臨時管理費118万円〕



南和気荘のプールを修繕

農村型リゾート施設南和気荘のプールが老朽化したため修繕を行う。
〔観光費167万円〕



議会に二つの特別委員会を設置

議会が取り組むべき課題解決に向けた協議を専門的に行うため、12月定例議会で二つの特別委員会の設置を議決した。

◎公民連携事業調査特別委員会

委員長 形井喜次
副委員長 左居圓

◎柵原地域学校等建設特別委員会

委員長 松田英二
副委員長 山田雄二
委員 形井智江、藤井幸一、松島正一、延原正憲、松田英二、林田実、金谷高子、江原耕司、岩野正則、山本宏治、松島幸啓、貝阿彌善

委員長 松田英二
副委員長 山田雄二
委員 山本宏治、金谷高子、林田実、延原正憲、形井幸一、松島正一、藤井智江、山田雄二

12月議会

でこんなことが
決まりました

公共土木施設・農林施設

12月4日～15日(定例議会)、21日(臨時議会)の会期で議会が

ノロウィルスの検査費を増額

ノロウィルス感染防止を含めた検査費を増額する。

〔児童福祉費・教育総務費35万円〕



柵原東小の給食調理室を修繕

柵原東小学校の給食用食器洗浄機が老朽化したため新たに購入する。

〔小学校管理費274万円〕



条例

町の債権管理の効率化を図る。

〔債権管理条例

町の税・使用料・利用料などの債権を一元的に管理し、一層の適正化および効率化を図り、公正な行政運営に努める。

行政財産を使用するための基準。

〔行政財産使用料条例

行政財産を使用した場合に徴収する使用料の基準、徴収方法などについての事項を定める。

使用料等の審議会を設置。

〔使用料等審議会条例

町が徴収する使用料・利用料などの適正化を図るための審議会設置基準を定める。

請願・陳情

日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める請願書

原水爆禁止岡山県協議会

代表理事

中尾 元重

紹介議員

藤井 智江

山田 雄二

政府における同盟国との緊密な連携を模索している状況を考慮し、賛成多数で**趣旨採択**とした。

宅地災害の援助についての陳情書

美咲町宮山畝自治会

会長

山本 泰示

宅地災害への補助金が新たに制度化されていることから全会一致で**採択**とした。

要望

町有施設貸与の要望書

社会福祉法人 中央福祉会

理事長

内田 康雄

町有財産の活用に係る募集要領に沿った対応を基準とし、全会一致で**趣旨採択**とした。

平成30年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についての要望書

公益社団法人日本理科教育振興協会

会長

大久保 昇

現状における状況を注視する必要があるため、全会一致で**趣旨採択**とした。

商工業振興事業補助金の予算措置についての要望

久米郡商工会

会長代行

大崎 俊男

商工会にあつては将来の状況を的確に見据えた運営を図られるよう意見を付し全会一致で**採択**とした。

地域振興の発展に貢献

◎地方自治法施行70周年記念

地方自治功労者県知事表彰

町議会議員在職20年以上

議員活動を通じて多年にわたり地域振興の発展に尽力した功績が認められ、美咲町議会から山本宏治議員が受賞しました。



山本宏治議員

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、まちづくり課、情報交通課、税務課、上下水道課、産業建設観光課、政策推進室、徴収対策室が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／山田雄二、松島幸一、松田英二、岩野正則、松島 啓の7人で審議しています。

【総務課】

電話に音声ガイダンス導入

問 宿直に音声ガイダンスを導入することだが、導入の理由は。

答 宿直が一人体制であり、夜間の電話対応などの負担を軽減するため。

【まちづくり課】

第二次振興計画の見直し

問 本計画は、まちづくりを進めていく上で最上位に位置する計画であるが、見直しの理由は。

答 策定後5年が経過し、各施策の進捗状況を検証し必要な見直しを加えるため。

【徴収対策室】

滞納整理の実状は

問 7月1日に新たに設置された徴収対策室はどういうことに取り組んでいるのか。

答 債権の取り扱いなどを研究し各課と連携している。徴収のための戸別訪問はしていない。



西川地内

旭地区住宅団地（仮称）を視察した。

分譲目的は定住促進であり、過疎対策として過疎債を活用して造成した。

本年4月から1区画100坪で6区画を販売する。国道429号線の近くで、交通の便もよい。

分譲地を購入し住宅を新築する場合、いろいろな補助金制度が利用できることも確認した。

【税務課】

滞納徴収の状況は

問 滞納分の徴収状況はどうなっているか。

答 本町独自に差し押さえなどを実施し、差し押さえ予告の7割強を徴収することができた。

【情報交通課】

「出前講座」がスタート

問 「出前講座」の趣旨や内容は。

答 町の職員がみなさまのお住まいの地区にお伺いし、町の取り組みや暮らしに役立つ情報などを説明するもの。

【産業建設観光課】

南和気荘にプール浄化装置

問 南和気荘プールは利用者大変喜ばれているが、施設管理はどうなっているか。

答 ここ数年修理費がかかっていたが、平成29年度に浄化装置を改修する予定。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課、健康福祉課、こども課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／金谷高子 副委員長／形井 圓 委員／藤井智江、左居喜次、林田 実、江原耕司、貝阿彌幸善の7人で審議しています。

【教育総務課】 給食備品の点検修繕

問 柵原東小学校暖房循環ポンプ、食器洗浄機の異音、水漏れがあるとのこと。どのような状況で使用しているか。

答 今はまだ持ちこたえているが、業者から指摘を受け修理不能ということで買い替える。

【生涯学習課】 運動公園遊具撤去

問 運動公園遊具のどの部分を撤去するのか。

答 木製アスレチック遊具の安全基準に適合しておらず、修繕も不可能なため事故が起る前に撤去したい。

【健康福祉課】 ほほえみの湯施設運営の検討

問 ほほえみの湯がよく故障するが、施設のありかたについて検討はなされているか。

答 利用者にアンケートを取り利用頻度なども参考にありかたを検討している。



原田地内

中央運動公園の木製遊具撤去の現地を視察した。

現在、運動公園に木製遊具のアスレチックが設置してある。木製遊具の安全基準は10年と定められている。10年が経過し、修理部品も無いとのことである。事故が起らないように撤去することを確認した。

【福祉事務所】 放課後デイサービス

問 8月にできた障がい児の放課後デイサービスの利用状況は。

答 利用者が増え、定員10人が満員の状況である。

【こども課】 かめっこ保育園園舎テラス修繕

問 園舎テラス木造部分が老朽化のため修繕とあるが屋根のことか。

答 テラス屋根を支える木造の梁10本程が老朽化したため修繕したい。

【住民課】 名字の旧姓表記

問 旧姓の変更表記はもともと住民基本台帳システムに入っていないのか。

答 いままでのシステムには無い。国の100%助成でマイナンバーカード発行と住民票システム運用のための改修を行う。

委員会 の活動

執行部への提言

【総務・産業常任委員会】

《秋田県小坂町の視察調査に基づく提言》

議員視察で秋田県小坂町を訪れた。視察の目的は、小坂町の優れた点を本町の施策に反映させることにある。

近代産業遺産を生かした小坂町のさまざまな取り組みの中で、「小坂鉄道レールパーク」は、かつて栄えた小坂鉄道を鉄道遺産としてよみがえらせた観光施設であり、同じようにかつて栄えた片上鉄道を有する我々としては、特に強く印象に残った。

片上鉄道や柵原ふれあい鉱山公園を今後一層魅力ある観光施設にすることができるよう提言する。

《5つの提言》

- 一. 貴重な片上鉄道の車両が一部雨ざらしになっているため車両保存用の屋根整備。
- 二. 柵原ふれあい鉱山公園運営協議会を開催し、周辺を含めた活性化策の取り組み。
- 三. 津山市などとの広域連携を充実させ、津山まなびの鉄道館やサイクリング愛好家との連携強化。
- 四. インバウンド(外国人観光客)の増加傾向をさらに向上させる今後の取り組み。
- 五. 観光施策に取り組みやすい組織づくり。

秋田県の視察調査を取りまとめた報告書を山本委員長・金谷委員長から貝阿彌議長へ提出した。

総務・産業常任委員会、民生・教育常任委員会からの報告書を基にまとめた議会からの提案書を貝阿彌議長から定本町長に提出した。

【民生・教育常任委員会】

《秋田県鹿角市の視察調査に基づく提言》

秋田県鹿角市では、少子高齢化が進み高齢社会に危機感を感じ、地域ボランティアのかたにより地域内で支えあう体制の確立を進めていた。

美咲町も少子高齢化、人口減少を避けられない状況であるが、歯止めをかけるべく、ひとりでも多くの人が集える場所としてサロン活動を進めている。

高齢者が主体となって組織づくりができるような柔軟な取り組みができるよう提言する。

《5つの提言》

- 一. 事務の代行など、サロン活動(通いの場)を立ち上げる時の柔軟な対応。
- 二. 積極的に職員が地域に出向き、「出前講座」を通して高齢者や地域の課題解決に取り組める対策づくり。
- 三. 集会所が近くに無い地域では、個人の家または空き家の利用などの取り組み。
- 四. ボランティアなどにより見守り支援など、多様なサービスの提供により、地域内で支えあう体制づくり。
- 五. 高齢者だけでなく中・高生なども交えた、幅広い世代による地域課題解決の取り組み。

公民連携の成功事例

紫波町オガールプロジェクトとは



29年11月6日～7日 紫波町を視察

岩手県紫波町は、岩手県のほぼ中央に位置する町で人口は3万3000人。町の進むべき方向性を熟慮した結果、「公民連携によるまちづくり」の方針を決定し、平成21年に基本計画を策定した。紫波町が整備したオガールプロジェクトは、役場庁舎・図書館・地域交流センターなどの公共施設と特産物販売所・クリニック・カフェなどの民間施設が混在した一つのコンパクトシティ化が実現している。こうした事例を参考にしながら本町における将来像を真剣に考えなければならない。

～議会広報委員会が本町を視察来訪～

福島県浪江町

11月8日、福島県浪江町議会報特別委員会の委員6人が来町された。原発事故以来、議会の頑張り、未来への希望を伝えたいという、委員の思いがあふれていた。



広島県熊野町

11月28日、広島県熊野町議会広報特別委員会の委員7人が来町された。筆軸の産地である熊野町の議員のみなさんは、明るく、積極的だった。



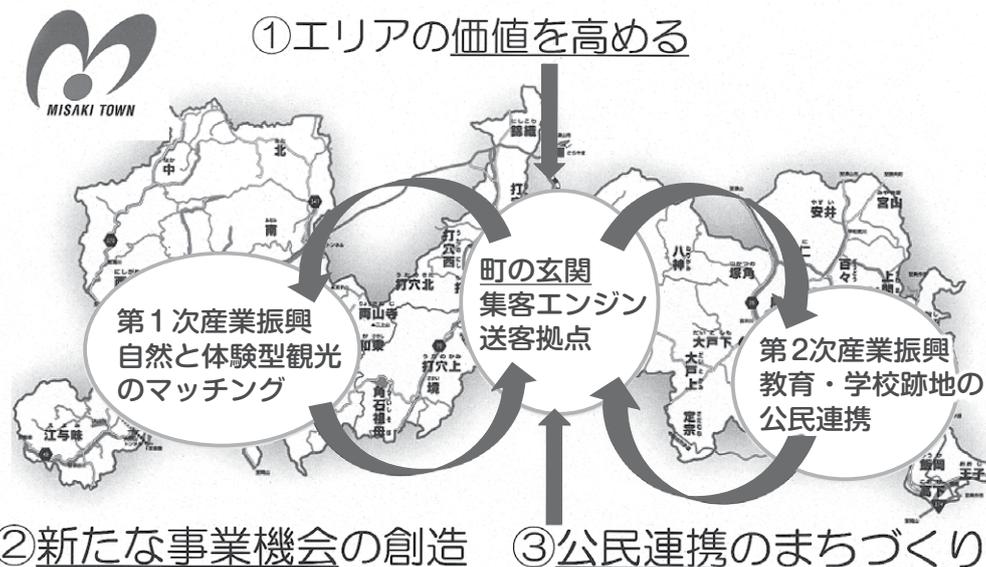
佐賀県基山町

1月25日、佐賀県基山町広報公聴常任委員会の委員6人が来町された。合併をしていない町で、本町とはまた違った角度から、編集にも細やかな配慮がされていた。



議会大激論!!! 補正予算案を否決

[公民連携のまちづくり・黄福創生拠点整備事業]



平成29年12月15日に開催された定例議会において、民間活力を導入することによる複合施設整備（役場庁舎を含む）に向けた黄福創生拠点整備事業費420万円が組み込まれた1億340万円の補正予算案が提案されたが、慎重審議および討論の結果大激論となり賛成6、反対7の反対多数で補正予算案は否決した。

その後、12月21日に臨時議会が招集され、黄福創生拠点整備事業費を削除し災害復旧事業費を計上した予算案4億8,508万円が提案され全会一致で可決・承認した。

[黄福創生拠点整備に対する討論]

反対討論	討論	賛成討論
<p>山田、藤井、松島(幸)、形井、左居、松島(啓)</p> <p>公民連携のまちづくりについては、議会や町民に対する説明が不十分。まして庁舎建設となればなおさらのことである。</p> <p>合併特例債の期限が迫っているとはいえ、事業の核心部分を担うまちづくり開発会社の実態が不透明という中で、それに対する出資金を認める訳にはいかない。</p> <p>事業実施に向けては十分な時間をかけて調査・研究し、町民の意見を聞き計画的に取り組む姿勢を示さなければならない。</p> <p>よって予算案には反対する。</p>	<p style="font-size: 2em; color: green;">採決</p>	<p>延原、松田、岩野、山本</p> <p>人口減少が進み、国からの地方交付税が年々減少し合併当初と比較して10億円近くの交付金減額が予測される中で、今までできていたことができなくなるという状況を最小限に留めるためには今ここで事を起こさなければならない。</p> <p>事業費の2/3を国が負担してくれる合併特例債を有効に活用しながら民間活力を導入する公民連携事業は町を維持していく上で最低限必要な事業である。</p> <p>よって予算案に賛成する。</p>

採決の結果、予算案を反対多数で否決

賛成6人	延原正憲 林田実 松田英二 江原耕司 岩野正則 山本宏治
反対7人	山田雄二 藤井智江 松島幸一 形井圓 左居喜次 金谷高子 松島啓

○議長は採決には加われません。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、
町長・教育長などに
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
10	延原 正憲	1. 期日前投票の期間再検討は 2. 観光施設の整備状況は
11	林田 実	1. 介護保険余剰金の反映は 2. 介護保険2025年問題への対策は
12	左居 喜次	1. 総合的な防災訓練の実施を 2. 防災士研修講座の誘致を ◇ 冬期道路管理は
13	松島 幸一	1. 口腔ケア事業の充実を 2. 宿日直業務での法令遵守を
14	形井 圓	1. 宅地災害補助の見直しは 2. 行政報告会の開催を ◇ 徴収対策室の実績は
15	松島 啓	1. 理解できない本庁舎移転建て替え 2. ポップカルチャーを生かした観光振興を

ページ	議員名	質問内容
16	山田 雄二	1. 美岡道の住民説明会は町が行うべき 2. 義務教育学校の説明を尽くせ
17	岩野 正則	1. 徴収対策専属の室長配置の考えは 2. 町なか活性化の具体策は
18	山本 宏治	1. 来年度の目玉施策は 2. 林業後継者の支援策を考えるべきでは
19	金谷 高子	1. 公民連携のまちづくりとは 2. 期日前投票の改善を ◇ どうする庁舎建設
20	藤井 智江	1. どう進める義務教育学校 2. 町内全域同様に参政権の行使を ◇ 国保税の引き下げを ◇ 必要か庁舎建設
21	松田 英二	1. 重要施策は一体的に推進する体制が必要

議会だよりには、2問まで掲載
しています。
掲載できなかった質問は◇で
表示しています。



期日前投票の期間再検討は

町政を問う

一般質問

延原正憲 議員



参議院選挙までは継続する



有権者に寄り沿う配慮を



問 昨年の県知事選挙と同様に今回の衆議院選挙でも旭・柵原地域の期日前投票所の開設期間が短縮された。昨年12月議会の一般質問において再検討する旨の回答があったが、検討状況と今後の方針は。



答 桑元総務課長(選挙管理委員会事務局長) 委員長が他の用務でやむを得ず欠席のため事務局長として回答する。昨年の一般質問を受けて、委員会では検討を行ってきた。有権者の利便性やこれまでの投票状況、経

費と効果や周辺自治体の状況など総合的に判断した。



問 委員会には有権者の投票に配慮する責務があり、費用対効果などで判断される問題ではない。

有権者に寄り添う配慮が必要だ。一人でも多くの投票を確保することが選挙管理委員会の仕事ではないか、再検討できないか。



答 桑元総務課長 今回の対応は検討を重ねた結果であり、参議院選挙までは継続する方針を確認している。ご理解いただきたい。



観光施設の整備状況は



順次整備を図りたい



問 今年6月の一般質問で前向きな回答のあった観光施設の具体的な実施計画、整備状況を確認したい。

- ① 片上鉄道車両の車庫。
- ② 観光施設への案内看板。
- ③ 公衆トイレの整備。
- ④ 町史編さん資料の保存展示。



答 國宗産業建設観光課長

- ① 片上鉄道車両の車庫や屋根の整備については30年度に設計、31年度工事完成を目指したい。
- ② 観光施設の案内看板



は関係者と協議し設置を進めたい。

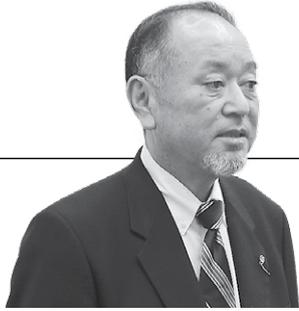
- ③ 公衆トイレについては本年度、百々地内に観光拠点として計画している。
- ④ 町史編さん資料はまず劣化防止を行い、展示施設は検討を重ねたい。

その他の施設についても、順次調査を行い、予算要求を行っていきたい。

④ 町史編さん資料はまず劣化防止を行い、展示施設は検討を重ねたい。



望まれる観光施設整備 (柵原ふれあい鉱山公園)



介護保険余剰金の反映は

質問

保険料の軽減に努める

答弁

介護保険法に係る
市町村介護保険事業計画の期間

第1期	平成12年～14年
第2期	平成15年～17年
第3期	平成18年～20年
第4期	平成21年～23年
第5期	平成24年～26年
第6期	平成27年～29年

介護保険事業計画は3年を1期とした計画で、各市町村が策定する計画に基づき介護保険料が設定される。

問

第6期介護事業計画(27～29年度)で約8千万円もの余剰金(中間報告)が出た。

このうち半分の4千万円程度を第7期の介護保険料軽減のために使うべきだと考える。

その結果県内1位、国内3位の高額な保険料の汚名も返上できるものと期待する。

答

鈴木健康福祉課長 現在繰越金を基金に積み立てているが、

県とも協議を行い半額の4千万円は第7期保険料の軽減に反映させたいと考えている。

答

定本町長

保険料は下がるだろうが介護報酬のこ

問

第6期においてなぜ8千万円もの余剰金が出たのか。原因の調査・精査が必要だと考える。

被保険者に対してより正確な保険料の設定を望む。

答

鈴木健康福祉課長 繰越金については、

保険料ばかりでなく、給付のほうも介護予防の効果もあって抑制された結果だと考えている。

県からヒアリング、指導、指示を受け計画書の策定、第7期の保険料算出に当たっていききたい。

質問

介護保険2025年問題への対策は

答弁

地域包括ケアシステムを強化する

問

2025年には団塊の世代の人たちが後期高齢にあたる75歳を迎えることになるとも考えている。

答

鈴木健康福祉課長 本町は高齢化率が40%を越える超高齢社会となっている。高齢者を支える側の人口も減少してきている。

このような取組を重ねていくことが今後の課題への対策に繋がるものと考えている。

実施したアンケート調査をもとに、地域包括ケアシステムの推進に早急に取り組むべきと考えるが、健康福祉課だけでなく全課をあげてスピード感を持って取り組む必要がある。

現在介護予防事業として「サロン活動」通いの場」も目的はほぼ同じであると考えている。

事業、財源の違いはあるが、高齢者の健康寿命の延伸、居場所づくりのためにも柔軟性をもって取り組むべきである。



集まりやすく みんなが主体

質問 総合的な防災訓練の実施を

町政を問う

一般質問

左居喜次 議員



答弁 自主防災組織の機運を高めることが必要



みんなで参加 防災訓練

問 防災訓練を積み重ねることにより、災害が発生したときの防災行動力を高め、被害を最小限に食い止めることができるものと考ええる。

行政、消防団、自治会、各種団体などが連携した総合的な防災訓練の実施が必要ではないか。

答 桑元総務課長

総合的な訓練は、本当に必要なだと痛感している。また、繰り返し実施することも大切だと思っている。

現状では、自主防災組織が連携し、個々の訓練を高めながら、時期が来れば総合的な訓練へと発展すべきものと考えている。

問 町長は自主防災組織ごとの訓練を提唱している。しかし、26年度から今日まで防災訓練をした組織は80組織の内わずか25組織しかない。このような状況で自主防災組織に訓練を任せておいてよいか。

行政が主導し、総合的な防災訓練を実施し、住民の防災意識の向上と問題点の抽出が必要だ。

答 定本町長

まずは自主防災組織の機運を高めていくことが必要。組織率が100%でも防災訓練をしないと何にもならないと思っている。

質問 防災士研修講座の誘致を

答弁 必要条件を勉強させてほしい

問 本町では、地域防災リーダーの育成を目的とし、防災士取得に係る費用を補助する制度があるが、受講者が伸び悩んでいる。

また、防災訓練を実施している自主防災組織は3分の1に満たないような状況である。防災士の配置により、自主防災組織が育ち、充実してくると考える。

この際、本町へ防災士研修講座を誘致し、町民の皆さんに受講を促してみてもどうか。

答 桑元総務課長

自治体では、全国54の市町村で開催された実績があるようだ。

本町で開催をする場合、最低限本町50人、近隣50人の受講者の確保が必要だ。

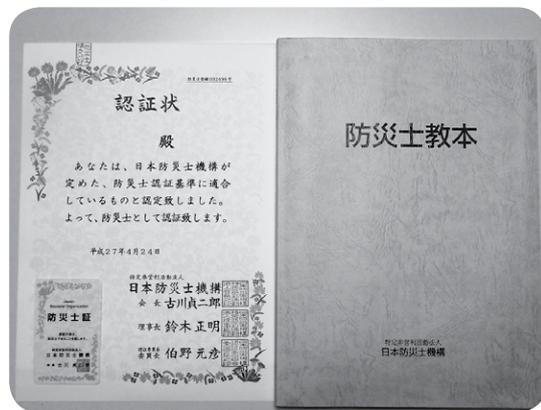
50人の受講で300万円の一時的補助金の出費が考えられる。

一時的経費の事を考えると、少しずつ受講者が増えていくことを願うのが賢明かと思っている。

答 定本町長

安心・安全が守られ、それによって指導者が生まれて来るわけで、金銭的ことはあまり感じていない。

地元で主催できる必要条件、必須条件はどのようなものか勉強させてほしい。



求む 防災士

町政を問う

一般質問

松島幸一 議員



口腔ケア事業の充実を

質問

力を入れて意識を高める

答弁

問 ことにより病気や認知症の発症リスクが下がり、医療費が下がることが分かってきた。口腔ケア事業に力を入れることで、将来的なメリットが目に見えて出てくるのではないかと。歯や口を健康に保つため、現在の取り組みに加え、歯のクリーニング付きの歯科検診を町の単独事業として行うことはできないか。

答 鈴木健康福祉課長 歯や口の機能が衰えると体全体の健康状態に悪影響を及ぼす。本町では現在、妊娠

問 口腔ケアを行うことにより病気や認知症の発症リスクが下がり、医療費が下がることが分かってきた。口腔ケア事業に力を入れることで、将来的なメリットが目に見えて出てくるのではないかと。歯や口を健康に保つため、現在の取り組みに加え、歯のクリーニング付きの歯科検診を町の単独事業として行うことはできないか。

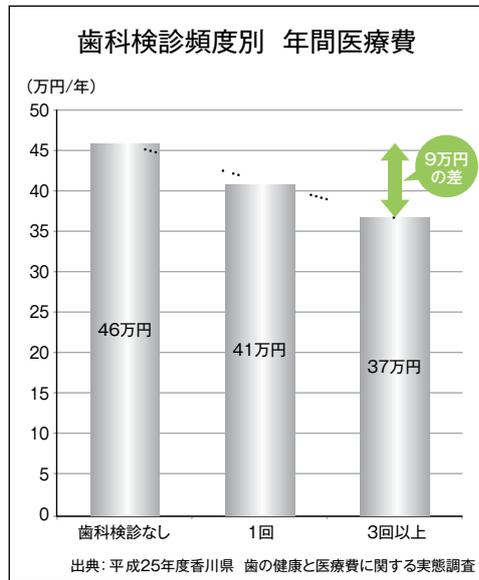
答 鈴木健康福祉課長 歯や口の機能が衰えると体全体の健康状態に悪影響を及ぼす。本町では現在、妊娠

問 口腔ケアを行うことにより病気や認知症の発症リスクが下がり、医療費が下がることが分かってきた。口腔ケア事業に力を入れることで、将来的なメリットが目に見えて出てくるのではないかと。歯や口を健康に保つため、現在の取り組みに加え、歯のクリーニング付きの歯科検診を町の単独事業として行うことはできないか。

答 鈴木健康福祉課長 歯や口の機能が衰えると体全体の健康状態に悪影響を及ぼす。本町では現在、妊娠

問 口腔ケアを行うことにより病気や認知症の発症リスクが下がり、医療費が下がることが分かってきた。口腔ケア事業に力を入れることで、将来的なメリットが目に見えて出てくるのではないかと。歯や口を健康に保つため、現在の取り組みに加え、歯のクリーニング付きの歯科検診を町の単独事業として行うことはできないか。

答 鈴木健康福祉課長 歯や口の機能が衰えると体全体の健康状態に悪影響を及ぼす。本町では現在、妊娠



問 行政においても法令遵守の考え方が重要視されている。特に宿日直業務については問題が発生している自治体もある。本町での宿日直業務のあり方についても、適切な労働環境を整えることが必要ではないか。



宿日直も適切な環境で

答 桑元総務課長 本町では宿日直業務に係る頻度や仮眠時間については法令で定める基準内で取り組んでいる。宿日直業務の負担軽減のため、そのあり方

問 行政においても法令遵守の考え方が重要視されている。特に宿日直業務については問題が発生している自治体もある。本町での宿日直業務のあり方についても、適切な労働環境を整えることが必要ではないか。

答 定本町長 現在、宿日直業務が肥大化し、十分に休養が取れない状態に

答弁

宿日直業務のあり方を検討している

質問

宿日直業務での法令遵守を

質問 宅地災害補助の見直しは

町政を問う

一般質問

形井 圓 議員



答弁 今年度から新たな要綱を制定



災害対策にはあらゆる想定を

問

本年度も、大雨などによる多くの災害が発生し、宅地災害もあつた。

現在10万円の宅地災害土砂取り除き補助金制度があるが、見直しはできないのか。

また、災害が発生されると思われる箇所は事前に着工できないか。要望書も出ており、できる限りの支援をするのが行政の責務ではないか。

答

課長 國宗産業建設観光課長
宅地土砂取り除き補助金10万円について見直しは考えていない。しかし、今年度から、小規模林地災害復旧補

問

助金支給要項を制定した。宅地災害土砂取り除き補助金との併用はできないが、事業費2分の1で上限50万円の補助金である。災害防止など、現地で状況を確認しながら対応したい。

問

裏山が崩れそうなのか。

また、補助金の周知徹底が必要だ。

答

課長 國宗産業建設観光課長
裏山の崖が高さ3メートル以上必要など、要綱の採択基準の中に含めている。周知については、今後検討していく。

質問 行政報告会の開催を

答弁 いろいろな場面で意見を聞く

問

今議会に本庁舎および複合施設事業が提案された。柵原地域においては、義務教育学校の建設も計画されている。こうした大きな事業計画が着々と進んでいくにも関わらず、特に庁舎建設については、町民には全くその計画が周知されていない。知らない幹部職員も多

答

課長 國宗産業建設観光課長
本庁舎の新設計画では、各種事業計画の変更さえ示されませんが、20億円の債務負担行為が予算計上されている。特に主要課題や重大事業の計画がある場合は、行政報告会の開催



住民への丁寧な説明を

※債務負担行為…複数年度にわたり支出を予定する場合計上する。

町政を問う

一般質問

松島 啓 議員



理解できない 本庁舎移転建て替え

質問

合併特例債を有効に使いたい

答弁



本庁舎建て替えは住民本意で

問

町長は、亀甲商や中央運動公園エリアへ公民連携のシンボリックな複合施設整備を検討してきた。

しかし、急ぎよ本庁舎の移転建て替えを含む施設整備を、合併特例債の発行期限である31年度中に行いたいと提案した。

本庁舎移転建て替えの件は無計画で、議会への説明は遅く、町民への説明は無い。町民の声を聴きながら、計画的に進めるべきである。賑わい創出や複合施設とは別で考えるべきではないか。また、柵原、旭地域

答

定本町長

事業を進める手順には、問題があった。本庁舎は、いずれ建て替える時期が来る。財政面から、31年度まで使える合併特例債を活用して行いたい。公民連携の手法で、本庁舎を含む稼げるエリアをつくりたい。

そして、柵原、旭地域にも広げていきたい。岡部副町長
町民の利便性を考え、ライフスタイルを豊かにする庁舎、心地の良い空間、拠点となり、産業振興につながる施設整備を行った。

質問

ポップカルチャーを生かした観光振興を

答弁

若者が訪れる仕掛けを考えたい

問

映画やアニメの物語の舞台を訪れる『聖地巡礼』が若者を中心に広がっている。鳥取県倉吉市では、ゲームやフィギュアのメーカーの協力で、アニメのインターネット上の架空都市と姉妹都市提携を結び話題となり、全国から多くのファンが訪れ、観光振興、若者定住にもつながっている。

答

課長

本町では、有名になった卵かけごはんを中心とした食文化を世界に向けて発信していく。また、柵原鉦山公園が、映画やドラマのロケ地として活用されており、さらに訪れてもらえるように研究したい。

本町が観光事業として展開している黄福物語の中で、ポップカルチャーを生かしたストーリーを研究し、柵原や鉦山公園などが『聖地巡礼』の地となるよう観光振興につなげるべきではないか。



若者が集まるまちへ

※ポップカルチャー…大衆文化、漫画やアニメなど



美岡道の住民説明会は町が行うべき

町政を問う
一般質問



山田雄二 議員



県の説明会で対応している



県の説明会は開かれた

地元調整ができていないので、その後の県主催の説明会を経て、工事はどこも順調に進んでいる。

地元説明会については県主体ではあるが、町長や職員が行き、その都度説明している。



平成15年6月、美作岡山道路のルート案が県より旧柵原町を含む8自治体に示された。

勝央町や旧瀬戸町など旧柵原町以外の7自治体では、すぐさま町主催の住民説明会が開かれた。内容は、土地の買収価格の設定（宅地・田・山林別）、地権者の協力（測量、土地提供）、ルート決定（複数ルート案の一本化）、工法の要望（盛り土か高架か）、付帯工事（側道、用水路）などである。



一方、美咲町ではない。柵原ICを含む工事が中断している最大の理由は、町主催の住民説明会が無かったからである。今からでも、町主催の住民説明会を開き、事態を打開すべきではないか。

定本町長

美作岡山道路は、事業主体が県である。ルートについても県に協力していく姿勢に変わりはない。



義務教育学校の説明を尽くせ



必要に応じ説明や意見交換を実施



義務教育学校の話が最初に出たのは、平成28年1月の柵原文化協会新年互礼会での町長挨拶の時である。その後、今日まで2年が経過しようとしているが、教育委員会主催の地元説明会は一度も開かれていない。また、議会にも全く説明がない。

住民や議会に全くと言っていいほど説明がないまま進める今の教育行政の手法は、正当性を持たない。将来に禍根を残すのではないかと。柴原教育長



確かに、教育委員会主催の地元説明会はまだ開いていないが、PTAには何回か説明会を実施した。

「33年4月開校」などの計画についてはあくまで素案である。

学校建設整備検討委員会の第2回目が11月21日に開かれた。その時の資料に「平成29年度学校建設予定地決定、30年度用地買収、33年4月開校」とあるが、その計画を議員は誰も聞いていないし、一度も審議していない。



望まれる地元説明会の開催

町政を問う

一般質問

岩野正則 議員



徴収対策専属の 室長配置の考えは

質問

適材の配置を考える

答弁

滞納額(平成29年11月5日現在)

担当課	滞納額
税務課	1億2,810万円
住民課	1億850万円
上下水道課	176万円
健康福祉課	1,003万円
情報交通課	17万円
合計	2億4,859万円

問

徴収対策室の活動実績は。

①現在の各課の滞納額。
②税、使用料及び貸付金等の徴収体制を三させ。

答

岡部副町長(徴収対策室長)

7月に徴収対策室を設置し、近隣市町村の債権回収担当課に視察に行った。

先進地の取り組みとしては環境整備をする。次に、複数の課と協議、連携して、督促状、催告書の送付をしている。
①別表の通り。
②徴収体制、取り組みだが、関係課が督促状を発送し、期限を過ぎた場合、連携が始まる。情報の一元化ができる

ので法律に照らして収納の協議をする。債権管理簿を徴収対策室で作成、整理する。

問

専属の室長の配置の考えはないか。更なる目標数値の上乗せについての考えを。

答

岡部副町長

現在、岡山県市町村税整理組合に職員を派遣している。他の自治体では、戻った職員が徴収のノウハウや条例法令などの知識を伝え徴収率が急激に高まっております。本町においても期待するところである。

室長には適材の配置を考える。

質問

町なか活性化の具体策は

答弁

公民連携でリノベーションを進める

問

町なかの空き家を活用して小さな図書館、喫茶などの集いの場所を交流拠点としてつくりたいか。町として具体的な活性化策があるか。

答

岡部副町長(政策推進室長)

公民連携で、例えば亀甲の商店街のエリアを絡めてお話しをする。現在、2店舗が開業の調整、準備をしている。他にも空き店舗があるので今後も遊休不動産の活用など公民連携で計画を進めていく。先日、亀甲の築百年を経る旧店舗でリノベーションする人たちが集まり、これからのまちづくりを熱心に話し合った。遊休不動産の所有者と町内外の担い手を結びつける仕組みを構築したい。自治会長、商工会、移住者へ今以上の取り組み、呼びかけができないか。民間の皆さんのアイデア、知恵で進めることも考えていきたい。

問

自治会長、商工会、移住者へ今以上の取り組み、呼びかけができないか。

答

岡部副町長

空き家の改修に



にぎわいのある町へ

質問 来年度の目玉施策は

町政を問う
一般質問

山本宏治 議員



答弁 公民連携と小中一貫校

問 来年度の予算編成に当たり、町長の目玉と思われる政策を表明されたい。

答 定本町長 公民連携事業が最優先、小中一貫校が今後の目玉。財政状況も厳しくなってくる。スクラップアンドビルドで対応する。職員のスキルアップを行い一致団結で取り組む。

問 スピード感とラニンングコスト経費の節減も必要では。

答 定本町長 交付税算定が下がってくるので、経費節減を十分に検討する。

答 岡部副町長（政策推進室長） 職員の定数、利用料、指定管理料の見直しなど経費節減に努める。

問 若手職員の意見を予算に反映を。日本一の美咲町を目指せ。

答 定本町長 機会があったら



答 岡部副町長 役職・年齢・部署に関わらず、自分のことや組織のことなどの話しをするようなミートイングもある。執行部としても声を拾って、想いが形になるようにしていきたい。

質問 林業後継者の支援策を考えるべきでは

答弁 森林組合などと検討したい



美咲の未来を担う林業後継者

問 人口減少は重要な課題であり、就職事情も大きく関係していると思われる。津山圏域との連携を十分に反映しながら若者定住へ向けた支援策を考えるべきである。

答 本町の森林事業の後継者対策なども視野に入れ、森林従事者の育成や森林大学校への授業料補助など考えるべきではないか。

答 美咲町地域林業担い手サポーター協議会を通じて一日林業体験の実施、都市部で行われる定住

答 美咲町地域林業担い手サポーター協議会を通じて一日林業体験の実施、都市部で行われる定住

促進会などに参加して美咲町の林業をPRし、担い手確保を実施している。

答 煙尾まちづくり課長 津山圏域でも総合戦略を立てており、中でも若者定住は最重要課題であり検討を進めていく。

答 奨学金についても津山市を中心として検討したい。

答 定本町長 森林環境税なども考慮に入れ森林組合などと検討したい。

答 柴原教育長 森林大学の情報を広報誌に掲載するなど、PRに努めたい。

町政を問う

一般質問

金谷高子 議員



公民連携のまちづくりとは

質問

意見を十分伺いながら進めたい

答弁

問 町長の公約であったシンボリックな施設の構想が見えてきた。

公民連携のまちづくり「公と民」が連携して事業を行い、補助金に頼らない手法でまちづくりを成功させた岩手県紫波町の先進地を視察した。

①紫波町の成功例（オガールプロジェクト）を本町に取り入れるには、町長の強力なリーダーシップが求められるが、具体的な考えは。

②本町にとって一大プロジェクトであり、町民に丁寧な説明が不可欠と考えるが、住民説



公民連携の成功例（紫波マルシェ）

答 明会の実施予定は。定本町長

①公民連携のまちづくりについて、百聞は一見にしかずということ、まずは議員にある程度の理解をいただくために紫波町に行ってもらった。

住民を無視したわけでも、議員を無視したわけでもない。意見を十分伺いながら進めたい。

答 岡部副町長（政策推進室長）

②説明会は12月18日に中央、19日に旭、21日に柵原で住民への説明をしたい。開催日は告知放送でお知らせする。

質問

期日前投票の改善を

答弁

選挙管理委員会の中で議論

問

全国的に期日前投票が増えている。

答

桑元総務課長（選挙管理委員会事務局長）

がなされ、最終的には昨年9月の時点で決定されたものであり、審議の引継ぎはされていない。

期日前投票に必要な宣誓書について、投票所入場券の裏面に印刷する取り組みを以前から提案しているが、進められていない。

①提案が取り入れられない理由は何か。

②本年5月に選挙管理委員会新委員長が就任されたが、提案は引き継がれ検討されたか。

③旭地域と柵原地域では、合併後に投票所が統合され、さらに期日前投票所の期間も短縮された。

①選挙管理委員会の中で経費のことも含め熱心に協議される中で、総合的な判断というのが一番である。

②本年5月に選挙管理委員会が代わった。前の選挙管理委員会で議論

に検討なり、研修も深めていく。

選挙管理委員会では常に検討なり、研修も深めていく。



もっと簡単な宣誓書を

質問 どう進める義務教育学校

町政を問う

一般質問

藤井智江 議員



答弁 整備検討委員会で 中身を煮詰める



美咲町 柵原地域義務教育学校 整備検討委員会

問 わずか17人の「柵原地域学校建設検討委員会」からの義務教育学校が望ましいという答申を3月に受けて、町長が義務教育学校に決定したと聞く。出された答申には「保護者や地域住民にきめ細かい説明や意見交換会などを通して理解と協力を得ることが大切です」とある。答申を持って各地域に出かけ説明会や意見交換会を行うべきではないか。

答 私が決めた訳ではなく、審議会で審議をしていただき、意見を聞きながら判断した。

答 柴原教育長 ①学力向上②生徒指導上の課題解決③新しい環境の中で地域の将来を担う子どもたちを地域と共に育てる教育④児童・生徒数の減少。このような理由により義務教育学校が必要という結論に至った。今後は「美咲町柵原地域義務教育学校整備検討委員会」で具体的な中身を煮詰める。

質問 町内全域同様に 参政権の行使を

答弁 投票者のために 一生懸命検討している

問 選挙管理委員長は議長の要請があれば出席しなければならぬと自治法121条に定められている。2日も欠席は議会軽視ではないか。

事務局が旭地域と柵原地域の期日前投票は、公示直後は少ない、期間短縮の影響はないという資料を選挙管理委員会に出している。しかし、24年の知事選挙、28年の知事選挙を比較すると明らかに、期日前投票が減り、投票率も下がっている。(表参照)

旭地域、柵原地域の期間短縮をすれば、職員がほかの仕事ができる、経費が減額できる

答 桑元総務課長(選挙管理委員会事務局長) 選挙管理委員会として決定した内容であれば私で対応できると思う。有権者の利便性、投票の状況、管理運営の状況と課題、経費と効果的運用、周辺自治体の状況を総合的に判断している。

有権者のために一生懸命検討している。ご理解いただきたい。

単位(人)

平成24年知事				平成28年知事			
日付		中央	旭	柵原	中央	旭	柵原
2	金	7	10	13	14		
3	土	8	3	19	26		
4	日	13	4	17	31		
5	月	27	11	35	20		
6	火	26	10	24	49		
7	水	30	22	33	35		
8	木	43	9	45	39		
9	金	37	37	70	62		
10	土	44	20	122	36		
11	日	39	18	99	54		
小計		274	144	477	366	0	0
12	月	73	33	63	82	57	127
13	火	93	58	63	101	44	115
14	水	92	45	106	81	59	100
15	木	85	42	72	88	51	89
16	金	137	86	107	126	103	111
17	土	258	107	160	170	95	156
計		1,012	515	1,048	1,014	409	698
当日		1,729	915	1,630	1,311	737	1,388
合計		2,741	1,430	2,678	2,325	1,146	2,086

町政を問う

一般質問

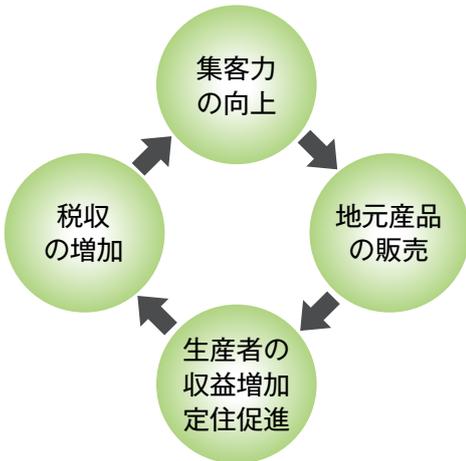
松田英二 議員



重要施策は一体的に 推進する体制が必要



チームで連携した協議を 進めている



問 本町と津山市が
共同で取り組む
「城下町と黄福のまち
観光産業創造事業」が
採択された。
具体的な施策展開は
どのように考えている
のか。

答 課長
5年間の継続事業で、
総事業費は2億2,19
5万円。
今後は、美咲DMO組
織（地域の中心となつて
観光を盛り上げる団
体）を設立し、「食堂か
めつち」、柵原鉱山資料
館、物産センターなど観
光施設の収益力アップを
目指し、本町の観光戦

略を構築して自立化を
図るよう取り組む。

問 基本的に集客力
を向上させて地元
産品を販売し、産業振
興を目的とするのなら、
DMO、リノベーション、
再生可能エネルギー
などの重要施策を一
体的に推進する体制を
構築すべきである。

答 岡部副町長（政策
推進室長）
公民連携によるまち
づくりの実現に向けて
は、役場全体で取り組む
という観点から、関係す
る各課が連携してチーム
による協議を進めてい
る。組織体制については
今後考慮していく。

表紙の紹介

～旭保育園とんど焼き～

1月12日、旭保育園園庭でとんど焼きが行われました。焼いたお餅にみかんを食べて、おでこに炭を塗った子ども達、この冬一番の寒い朝でしたが、とっても元気でした。

※今号より、表紙のQRコードにアクセスすると、議会だよりの閲覧に加え、ボランティアのかたに録音していただいた「声の議会だよりの声」をお聞かせいただけます。



議員研修会が県北で初開催

～住民に期待される議会とは～

11月8日、県北では初めての開催となる、岡山県町村議会議員研修会が津山市で開催されました。

「住民に期待される議会とは」と題して、早稲田大学マニフェスト研究所・事務局長の中村健氏より講演がありました。議決権をもつ議会の責任などについて、首長を務めたこともあるご自身の経験も踏まえ、大変貴重なお話を伺いました。



10年後こんなまちに

定住促進を目指し

わたしたちの美咲町

これからを考える

美咲町の問題点

- 人口が少ない。
- 空き家が多い。
- 公園が少ない。
- 公園はあるけど使えない遊具もある。
- 遊ぶ場所がない。
- ↓子どもが外で遊んでいない。
- コミュニケーションの場所がない。
- 地域の人とのふれあい、関りが少ない。
- 若い人の遊べる場所が少ない。
- ↓若い人が都会に行ってしまう。
- ↓美咲町の若者が減る。
- スーパーが少ない。
- 飲食店が少ない。
- 特産物はあるけど、食へに来る人が少ない。
- 観光客が少ない。
- 「食堂かめつち。」の人气が落ちている？
- タレの味が飽きてきた。メニューが少ない。
- 季節ごとのイベントが少ない。
- プールや水族館がない。

美咲町の今

- 自然が豊か。田舎。
- 町の行事にたくさんの人がある。
- たまごかけごはんが有名。
- 黄ニラやブドウが有名。
- 人口が少ない。
- 子どもが少ない。
- 高齢者が多い。
- 商店街はあるが、店の数は少ない。
- 買い物をする場所がない。
- コンビニが少ない。
- イベントはあるが少ない。
- (夏祭り、秋祭り、たまご祭り)
- 加美ふれあいまつり)
- 野生動物がととも多い。

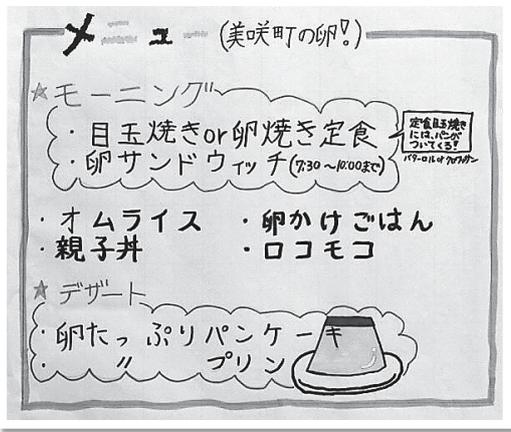




まちの黄福論

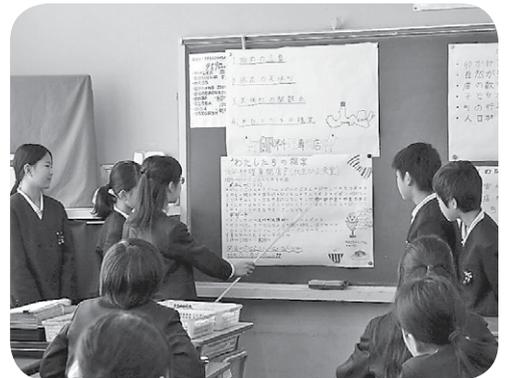
私たちの提案

- 1 空き家をリフォームしてカフェにする。
 - 2 駅前付近に美咲カフェを作る。
(たまごを使ったメニュー)
 - 3 みんなとふれあうイベントを増やす。
春……ひなまつり、お花見
夏……ミニプール、さかなどり
秋……ハロウィン
冬……おもちつき、節分
 - 4 老人ホームや地域の高齢者とふれあうイベントをする。
 - 5 たまご料理店(たまひよ食堂)を作る。
 - 6 美咲パーク(自然を生かしたテーマパーク)を作る。
 - 7 美咲ドームを作る。
- 1階は遊び場と遊具
2階はお店とフードコート
3階は映画館とプラネタリウム



昨年10月~11月に、民生・教育常任委員会で学校訪問を行いました。

最後に訪問した加美小学校6年生の授業での内容が、まちの重点施策であり、議会でも特別委員会を立ち上げ取り組んでいる「定住促進」につながることから、関係の皆さんにご理解をいただき本項に掲載いたしました。



町民の皆さんこんにちは

サークル紹介 第28回

あつたかほっこり



美咲やなはら語りの会ほっこり

●いつ頃から活動していますか●

平成24年7月に設立し、丸5年になります。

●どんな活動をしていますか●

月1回2人1組が語り部となり、地域児童館でお話しをしています。

道具などはほとんど必要ないので、どこでも開くことができるため、サロンや施設へも気軽に出かけています。

発表会を年に1回開催し、地域のみなさんに披露しています。

●メンバー構成は●

男性1人、女性8人の合計9人で、年齢は50～80代です。

●活動を始めたきっかけは●

町の生涯学習講座「語り手教室」(講師：岡山県語りのネットワーク会長 立石憲利先生)を受講したメンバーが、語りを通じて楽しもう、語りの魅力を広めようと、この会を結成しました。

●楽しいことは何ですか●

数ある民話の中から、聞き手や季節に合ったもの、自分の得意とする話を選び、筋を覚え、自分の言葉と表現で情感を込めて語れることです。

仲間と集まって報告会をしたときは、話が尽きずに盛り上がり、とても楽しいひと時となります。

●これからの活動は●

地道で細やかな活動ですが、レパトリーを増やして、粘り強く続けたいです。

若いお母さんや民話に関心のあるかた“ほっこり”と一緒に楽しみませんか。

●議会に一言お願いします●

子どもたちのさまざまな問題を耳にする時、健全な成長、発達に、いま何が求められているのか大きな関心事です。目先にとらわれず、子どもと関わる多くの人たちと共に長期ビジョンを作ってほしい。

語りをとおして

黄福のまちにしてください。

編集 後記

今冬は、ことのほか厳しい寒さが続いております。

ます。

今回の美咲町議会だよりでは、町の未来を担う加美小学校6年生の皆さんの「10年後のまち」について学習されたことを掲載させていただきました。

これからも、皆さまの声を聞きながら、町民の代弁者として、しっかりと議論を尽くして参ります。

「美咲町議会だより」で少しでも、議会の内容をよりわかりやすくお伝えしたいと編集いたしました。

ご意見をお寄せいただければ幸いです。

本年が皆さまにとって素晴らしい年になりますようお祈りします。

(藤井記)

議会広報編集特別委員会

委員長 左居 喜次

副委員長 藤井 智江

山田 雄二

松島 幸一

松田 英二

金谷 高子